

株主のみなさまへ

..... Vol.60

株主通信 第118期

2024年1月1日～2024年12月31日



表紙:2024年7月 ツール・ド・フランス 2024 第15ステージの様子  
表紙写真撮影者:Cor Vos





代表取締役社長

島野 泰三

## 事業の経過及び成果

当連結会計年度におきましては、世界経済は、インフレ鎮静化を背景とした緩やかな成長が見え始めたものの、ウクライナや中東情勢の緊迫化、中国経済の停滞、各国での相次ぐ政権交代を受けて先行きの不透明感が増しました。

欧州では、物価上昇の落ち着きにより個人消費も持ち直し、景気は緩やかに回復する動きを見せました。

米国では、個人消費が堅調に推移したものの、労働市場の鈍化傾向や金利の高止まりの影響を受け景気回復のペースは緩慢なものとなりました。

中国では、長引く不動産市場の停滞と個人消費の低迷により、景気は力強さを欠きました。

日本では、堅調なインバウンド需要や雇用・所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような環境の下、自転車、釣具への需要は引き続き弱含みであり、当連結会計年度における売上高は450,993百万円（前年同期比4.9%減）、営業利益は65,085百万円（前年同期比22.2%減）、経常利益は98,674百万円（前年同期比4.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は76,329百万円（前年同期比24.8%増）となりました。

## 自転車部品

長期的なトレンドとして自転車への高い関心が続くなか、完成車の店頭販売は弱含みとなり、市場在庫は高い水準で推移しました。

海外市場においては、欧州市場では、春先の天候不順によって完成車の店頭販売は軟調となり、市場在庫は高めの水準で推移しました。

北米市場では、自転車への関心は底堅かったものの、完成車の店頭販売は弱含みとなり、市場在庫はやや高めで推移しました。

アジア・オセアニア・中南米市場においては、市場在庫の水準に改善の兆しが見え始めた一方、個人消費の低迷が継続し、完成車の店頭販売は弱含みで推移しました。中国市場では、スポーツサイクリングへの高い人気は継続した一方、シーズン終盤に市場に対する完成車の出荷量が増え、市場在庫は高めとなりました。

日本市場においては、完成車価格の高騰もあり、店頭販売は低調となり、市場在庫はやや高めで推移しました。

このような市況の下、ロードバイク向けコンポーネントの「SHIMANO 105」やグラベル専用コンポーネント「SHIMANO GRX」などの製品にご好評を頂きました。

この結果、当セグメントの売上高は345,553百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益は54,157百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

## 釣具

世界的に過熱気味であった釣具の需要が落ち着き、販売は弱含みで推移したなか、市場在庫の調整に改善の兆しが見えました。

日本市場においては、釣り愛好家の購買意欲は底堅く高価格帯製品の販売は堅調であったものの、販売は総じて力強さを欠き、市場在庫の調整は継続しました。

海外市場においては、北米市場では、安定した需要に支えられ販売は堅調に推移し、市場在庫の適正化が進みました。

欧州市場では、販売は堅調さを取り戻し、市場在庫の調整に進展の兆しが見え始めました。

アジア市場では、個人消費の低迷と悪天候の影響を受け、販売

は弱含みとなり、市場在庫はやや高めの水準で推移しました。

豪州市場では、良好な天候と釣況に支えられ、販売は好調に推移し、市場在庫は適正水準を維持しました。

このような市況の下、新製品のスピニングリール「VANFORD」が高い評価を受けるとともに、引き続きスピニングリールの「TWIN POWER」、ロッド「POISON ADRENA」などの製品に多くのご注文をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は104,990百万円（前年同期比3.9%減）、営業利益は10,929百万円（前年同期比40.6%減）となりました。

## その他

当セグメントの売上高は449百万円（前年同期比1.9%減）、営業損失は1百万円（前年同期は営業損失11百万円）となりました。

## 期末配当のご報告

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに、業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針とし、引き続き配当の充実と、機動的な自社株買い継続により総還元性向50%を下限の目安とし、株主還元向上につとめます。

この基本方針に基づき、今回の期末配当金につきましては、前年同期より12円増額の1株当たり154円50銭の配当とさせていただきます。これにより当期の年間配当額は、前期から24円増額の1株当たり309円となりました。

なお、次期の配当につきましては、1株当たり年間配当額339円（中間配当金169円50銭、期末配当金169円50銭）を予定しております。

## 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界経済は緩やかな回復基調を迎える事が見込まれるものの、ウクライナ・中東情勢をはじめとした地政学リスクに伴う資源価格の上昇や物流の停滞によるサプライチェーンの混乱、また2024年に相次ぎ実施された各地域の国

政選挙結果からの政策変更が景気を下押しの可能性があります。

欧米を中心としたインフレ鎮静化と個人消費の回復を受け、景気は緩やかな回復基調となることが見込まれる中、欧州では主要国での政局不安、また米国では新政権の通商政策が景気を左右する可能性があります。

中国では、不動産市場の長期的な低迷により景気回復の力強さを欠く恐れがあります。

日本では、所得環境の改善や政府の経済施策から個人消費が堅調に推移し、景気は緩やかに回復に向かうことが見込まれるものの、米国の通商政策が影響を与える可能性もあります。

このような経営環境のなか、当社は、自転車や釣具に対する需要動向を注視しつつ、お客様の視点にそった高品位で魅力的な製品を提供する、日本発の「開発型デジタル製造業」として、多くの人々に感動していただける「こころ躍る製品」の開発・製造に邁進することはもとより、企業と社会の共有価値を創造し続ける「価値創造企業」として、一步一步、前進していくことが大切であると考えております。経営効率のさらなる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進し、サステナブルな成長を目指してまいります。その結果、2025年12月期の連結業績予想は以下のとおりといたします。

	2025年12月期	前年同期比
売上高	4,700億円	4.2%増
営業利益	700億円	7.6%増
経常利益	950億円	3.7%減
親会社株主に 帰属する当期純利益	710億円	7.0%減

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年3月



## 自転車部品事業

## 選択肢が広がれば、楽しみ方も広がる “きっかけ”を生み出す「CUES」の進歩

**SHIMANO**  
**CUES**  
Keeps you moving

### 「CUES」から待望のドロップハンドルバーが登場

2025年1月、コンポーネントシリーズ「CUES（キューズ）」に新しくドロップハンドルバーが追加されました。すでに登場しているフラットハンドルバーと今回加わったドロップハンドルバーがラインアップされたことで、ロードからグラベルまで、あらゆる自転車カテゴリを「CUES」で網羅できるようになりました。

2023年に誕生した「CUES」は、これからスポーツバイクを始めユーザーを対象に、自転車をより身近に感じていただくことを目指したシリーズです。その大きな特徴は、従来のギアシステムに改良を重ねたLINK GLIDE（リンクグライド）による高い耐久性とスムーズな変速性にあります。テクニカルなメンテナンスを要さ

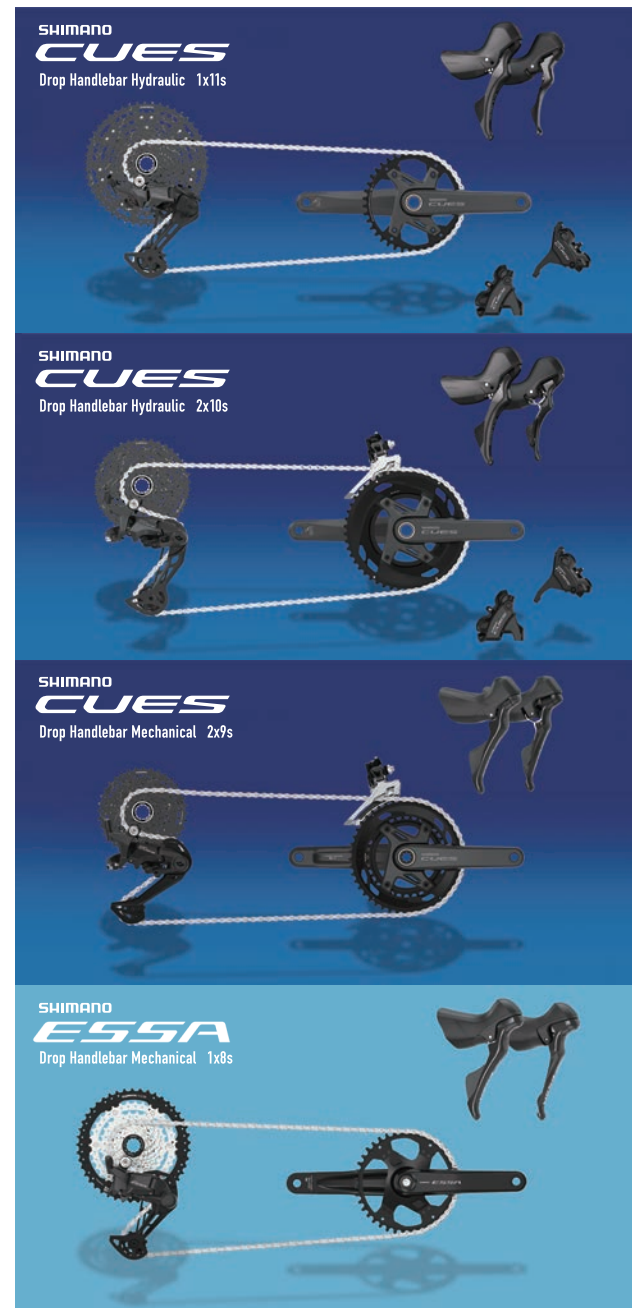
ない使い勝手のよさや、摩耗に負けない長持ち設計、ストレスのない快適なライディング性能は、すでに世界中の多くのユーザーから支持を得ています。

今回仲間入りしたドロップハンドルバーは、主にロードバイクで使用されるハンドルです。地面に対して平行に伸びるフラットハンドルバーに対して、ドロップハンドルバーはハンドルが下向きにカーブした形状をしています。前傾姿勢を取ることで空気抵抗を減らし、スピード感のある走りを楽しめるため、スポーツバイクの奥深さをより体感することができます。また、ブレーキ機能と変速機能を兼ね備えたSTIレバーの搭載や、人間工学に基づいたハンドルの握りやすさなど、ハイエンドシリーズにも採用されている機能性やデザインを余すことなく取り入れています。

### スポーツバイクの世界へ誘う コンポーネントとして

油圧ブレーキからは11段・10段、メカニカルブレーキからは10段・9段と、変速段数も幅広くラインアップ。さらに昨年より発売開始した新コンポーネントシリーズ「ESSA（エッサ）」からもグラベル仕様の8段が同時展開されました。

ドロップハンドルバー、そして多様な変速段数が加わったことにより、スポーツバイクの楽しみ方はより深みを増していきます。街中で風を切る爽快感や、遠く離れた場所で砂利道を走る感覚を、身近なものへと変えていきます。ユーザー一人ひとりが自分なりの楽しみ方を見つけ、スポーツバイクの世界へと入り込む“きっかけ”となる「CUES」。その広がりと進化に、今後ご期待ください。



## 釣具事業

大型魚を獲るための最先端テクノロジーを搭載  
「新ステラSW」がさらなる進化を遂げて登場

## STELLA SW

大型魚を対象にしたソルトウォーターフィッシングを楽しむための最高峰リール「ステラSW」が、最新のテクノロジーをまとうて登場します。

大型魚を獲る際、リールに求められるものとして「高いキャスト性能」「耐久性」「卓越したドラッグ性能」「ライントラブルの抑制」が挙げられます。これらの性能を叶えるのが、シマノ独自のテクノロジーです。高いキャストビリティを誇るインフィニティループ、ギア強度・耐久性を向上させるインフィニティクロス、ドラッグ性能が強化されたXX（ダブルエックス）タフドラッグ、不快なライントラブルを抑制するアンチツイストフィン。これら最先端のシマノテクノロジーの数々は、2025年に入り各地で開催されている釣具の展示会においても、過酷なシーンで釣り人を支える性能として高い評価を得ています。

快適にキャストし、機敏に操作し、大型魚としっかりやり取りをする。実績と信頼の「新ステラSW」が、ソルトウォーターフィッシングの世界を新たなステージに導きます。

## 若手アングラーたちの活躍の場を創出する「シマノ ジャパンカップ U-35大会」開催

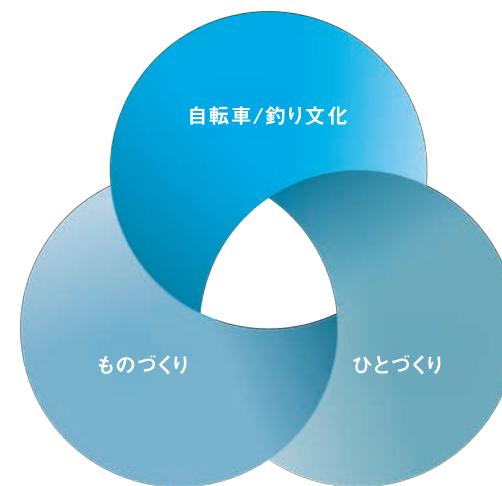
昨年、35歳以下を対象にした釣りトーナメント「シマノ ジャパンカップ U-35大会」を開催しました。初めて開催された機は6月に愛媛県日振島、第2回が開催された鮎は9月に岐阜県長良川郡上をそれぞれ舞台に、活気あふれる闘いが繰り広げられました。

本大会の大きな目的は「若手が活躍できる場の創出」。参加者からは自身の実力を知ることや、同世代とのコミュニティを築くことができる機会になったと感謝の声が多く寄せられました。この大会の開催により、元気で実力も兼ね備えている若手が育っていることを確認することができたほか、若手活躍の場を創出するムーブメントを起こすきっかけにもなりました。今後も様々なイベントを実施し、釣り文化のさらなる発展を目指してまいります。



## シマノトリコロール（アクティビティ）

## 製品・人・文化が織りなす新たな価値「シマノトリコロール」



シマノトリコロールとは、当社が掲げる使命「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する。」を体現する価値観です。今回新たに当社の使命に則った様々な活動に含まれる概念を「ものづくり」「ひとづくり」「自転車/釣り文化」の三つに大分し、これらの相互関係をより明解にお伝えできるように構成を改めました。今後も製品・人・文化が織りなす新しい価値を通じて、感動とよろこびに満ちた未来を共に創造してまいります。

## ものづくり

シマノは人々の健康とよろこびに貢献するものづくりを、常に時代の先を行く「企画力」「開発力」「デザイン力」、そしてこれらを具現化する「製造力」で実現します。

## ひとづくり

新たな価値を創造するための「ひとづくり」に取り組み、こころ躍る製品やサービスを提供し、社会とのコミュニケーションを密にとりながら、共存・共栄を図ります。

## 自転車/釣り文化

シマノは自転車や釣りの文化的価値を高めていくために、様々なイベントの主催やサポートを行う他、世界各国の文化発信拠点やメディアを通じた様々な活動や情報発信を継続しています。

## トピック

## 自転車文化

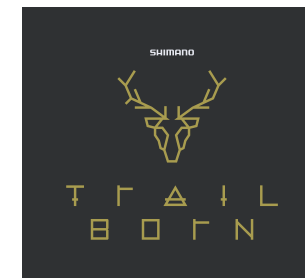
MTBトレイルの未来をつなぐ  
「Shimano Trail Born Fund」

「Shimano Trail Born Fund（シマノ・トレイル・ボーン・ファンド）」は、世界中のマウンテンバイクトレイルの拡大と保全を目的に、2024年からの10年間で1,000万ドル\*の基金を支援するプロジェクトです。

マウンテンバイク（以下：MTB）の走路として、森林や山の中に整備されているトレイル。ライダーが自身のレベルに合わせたライドを気軽かつ安全に楽しむために不可欠な存在ですが、その開拓や維持には、一定の資金が必要となります。長期的かつ持続的な支援を通じて世界のトレイル発展を目指すため、今回立ち上げられたのが「Shimano Trail Born Fund」です。

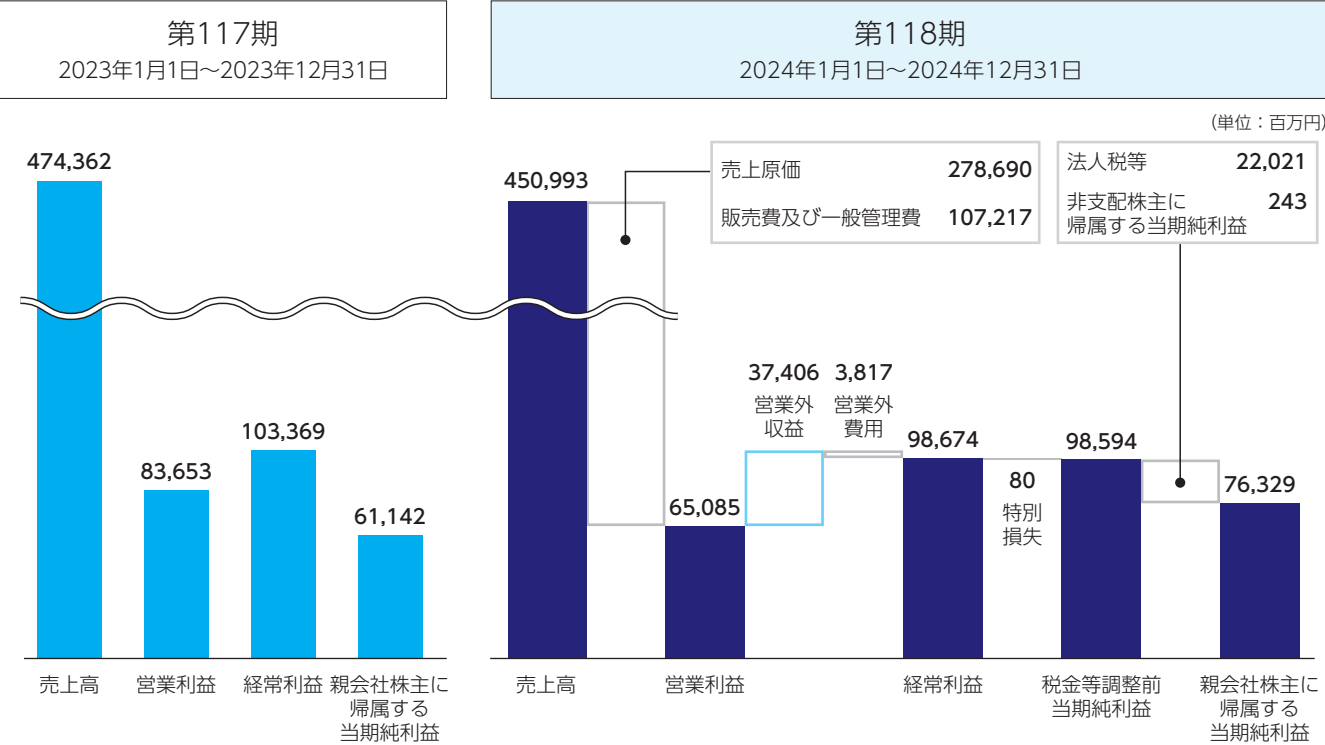
当プロジェクトでは、2025年に北米、ヨーロッパ、オセアニアの地域全体、2026年までにはアジア、アフリカ、中南米の各地域への展開を目指しています。今回の支援はトレイルの価値を広く伝え、その結果としてMTB市場における新製品の投入機会や持続可能な利益を生み出すことにつながると考えています。当プロジェクトを通して、トレイルそしてMTB文化のさらなる発展に貢献してまいります。

\*日本円で約14～15億円

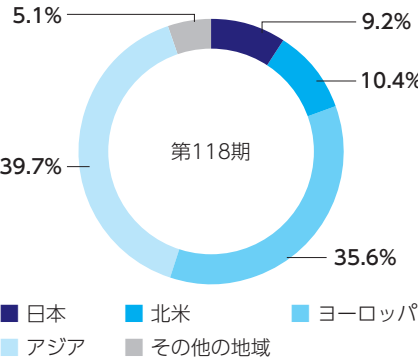




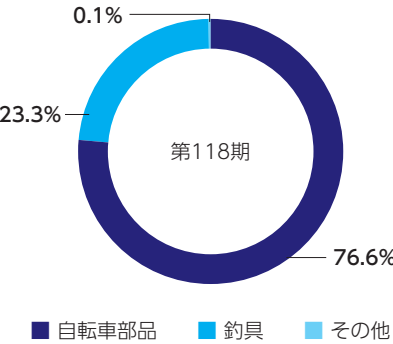
■ 連結損益計算書（要約）



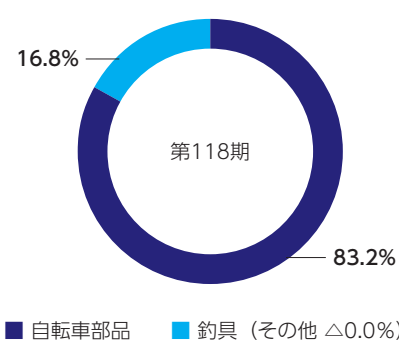
■ 地域別売上高比率



■ セグメント別売上高比率

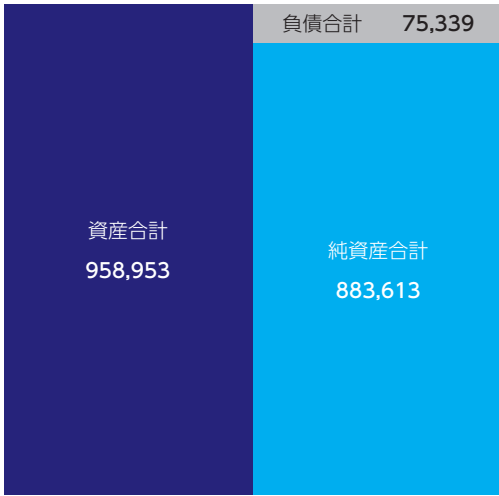


■ セグメント別営業利益比率



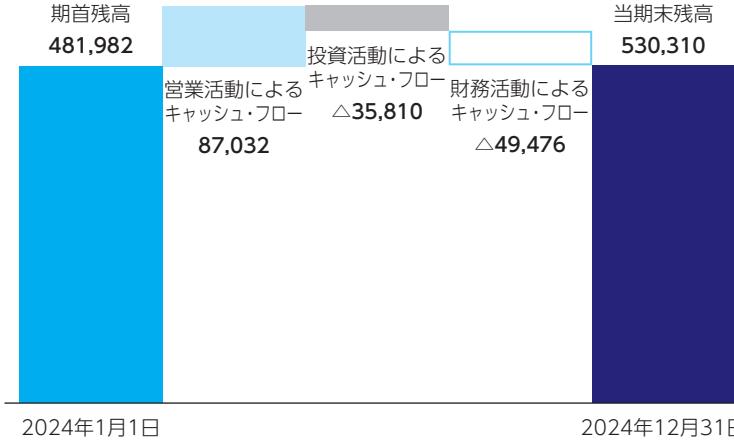
■ 連結貸借対照表（要約）

第118期末 2024年12月31日現在  
(単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

第118期 2024年1月1日～2024年12月31日  
(単位：百万円)



※その他の財務関連データにつきましては当社ホームページ「投資家情報：財務ハイライト」をご参照ください。  
<https://www.shimano.com/jp/ir/finance-highlights.html>

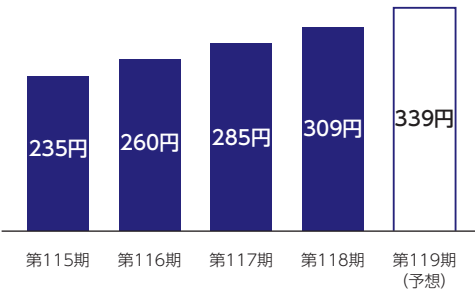


年間配当金の推移

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに、業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針とし、引き続き配当の充実と、機動的な自社株買い継続により総還元性向50%を下限の目安とし、株主還元向上につとめます。

この基本方針に基づき、今回の期末配当金につきましては、前年同期より12円増額の1株当たり154円50銭の配当とさせていただきます。これにより当期の年間配当額は、前期から24円増額の1株当たり309円となりました。

なお、次期の配当につきましては、1株当たり年間配当額339円（中間配当金169円50銭、期末配当金169円50銭）を予定しております。



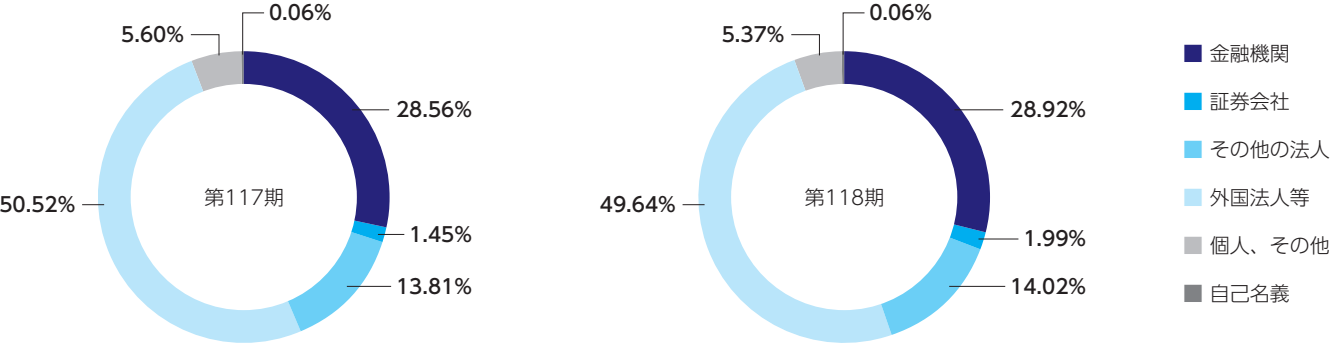
■ 発行可能株式総数262,400,000株

■ 発行済株式の総数89,120,000株

■ 株主数9,092名

■ 単元株式数100株

所有比率



大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	11,766	13.21
湊興産株式会社	7,936	8.91
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	4,573	5.14
JP MORGAN CHASE BANK 380055	3,701	4.16
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2,953	3.32
株式会社スリーエス	2,171	2.44
日本生命保険相互会社	1,801	2.02
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,450	1.63
STATE STREET BANK WEST CLIENT – TREATY 505234	1,442	1.62
株式会社りそな銀行	1,411	1.58

（注）持株比率は自己株式（54,078株）を控除して計算しております。

社名

株式会社シマノ

英文社名

SHIMANO INC.

創業年月

1921年2月

設立年月

1940年1月

資本金

35,613百万円

従業員数

1,748名

事業内容

自転車部品、釣具、  
ロウイング関連用品等の製造販売

本社

〒590-8577  
大阪府堺市堺区老松町3丁77番地

URL

https://www.shimano.com

役員

代表取締役会長兼CEO

島野 容 三

上 席 執 行 役 員

清 谷 欣 司

代表取締役社長

島 野 泰 三

執 行 役 員

大 津 智 弘

代表取締役副社長

豊 嶋 敬

執 行 役 員

大 竹 正 浩

代表取締役副社長

津 崎 祥 博

執 行 役 員

金 井 琢 磨

常 務 取 締 役

チア チン セン

執 行 役 員

中 野 敬 介

社 外 取 締 役

一 條 和 生

執 行 役 員

赤 川 満

社 外 取 締 役

勝 丸 充 啓

執 行 役 員

島 野 豪 三

社 外 取 締 役

榊 原 定 征

執 行 役 員

島 野 勇 三

社 外 取 締 役

和 田 浩 美

執 行 役 員

能 勢 佳 孝

常 勤 監 査 役

樽 谷 潔

常 勤 監 査 役

吉 本 昌 義

社 外 監 査 役

野 末 佳 奈 子

社 外 監 査 役

橋 本 敏 彦

■ 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	3月	株主名簿管理人	大阪府中央区北浜四丁目5番33号
基準日	期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年 6月30日	事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 (https://www.shimano.com/jp/ir/electronic.html) ただし、やむを得ない事由によって電子公告による ことができない場合は、日本経済新聞 に掲載いたします。	電話照会先	☎ 0120-782-031 受付時間 9:00～17:00（土日休日を除く）
		ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency
		よくあるご質問 （FAQ）	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問 (FAQ)」サイトで確認いただけます。
		証券コード	7309